

Rikkyo Club of Executives & Professionals

立教経済人クラブ

発行所：立教経済人クラブ 発行人：和田成史 編集人：徳澄範光 事務局：TEL.03-3985-3135 <http://www.r-keizaijin.net/>

第36回定期総会



2016年5月25日(水)午後5時30分より、毎年恒例となる「立教経済人クラブ第36回定期総会」が日比谷松本楼にて開催されました。

総会は第1部の定期総会、第2部の講演会、第3部の懇親会と三部構成で行われました。

第1部の定期総会は総務委員長湯浅修氏(S59 産・株式会社ブレン代表取締役社長)が司会者となり、総会に先立って物故者の報告と黙とうを全員で行いました。その後、司会者が開会を宣言し、会則により議長に会長である和田成史氏(S50 営・株式会社オービックビジネスコンサルティング代表取締役社長)が指名され議事の審議に入りました。

1号議案の事業報告、3号議案の役員案、4号議案の事業計画案は井口一世事務局長(S53 営・株式会社井口一世代表取締役)より、2号議案の決算報告、5号議案の予算案は守屋裕之財務委員長(S60 営・ソニー生命保険株式会社トップ・オブ・エグゼクティブライフプランナー部長)より、監査報告を北岡修一監査委員長(S55 営・東京メトロポリタン税理士法人統括代表社員)よりそれぞれ報告され、全ての議案について満場一致で承認され、無事総会が閉会しました。

引き続き午後6時より、第2部の講演会が開催されました。今回は2016年3月に襲名披露をされた、5代目中村雀右衛門様より、「ユネスコ世界無形文化遺産『歌舞伎KABUKI』への誘い」と題して歌舞伎の世界について講演していただきました。

午後7時からは第三部となる懇親会です。会員73名、ゲスト2名、来賓20名総勢、95名の参加者となりました。

引き続き、湯浅総務委員長の司会で開宴となりました。まず、和田会長より開宴の挨拶として、総会が無事に終了した報告とお礼ののち、惜しくも優勝を逃した六大学野球の話題にふれ、何かのきっかけで優勝が手に届くところにいるのではないかと感じたこと。経済界、特にIT業界ではクラウド、人工知能(AI)、IOT、ロボットなどがキーワードとして出ており、学習をする人間以上のロボットが出てきており、こうしたきっかけが産業の新しい進化の可能性になるのではと思っている。立教経済人クラブもチーム立教をきっかけとして交流を深め、大学にも貢献していきたい。と挨拶されました。

続いてご来賓を代表し、吉岡知哉立教大学総長より、今週に入ってから人に会うたびに残念でしたと言われている。応援に行っても感じたのは力が付いてきているが、運が無かった。次こそはと期待が膨らむがそのうちに任期が終わってしまうと、こちらも六大学野球の話題にふれられました。最近のコンピューター、ロボットなどの発展を見ると「2001年宇宙の旅」という映画を思い出し、時代の変化を感じている。そうした中、立教大学も時代と共に変化していて、GLAP(グローバル・リベラルアーツ・プログラム)というプログラムをスタートさせることになり、20人の学生が寮生活や、海外留学を経験した後、専門領域を更

に深めるという先進的なプログラムとなっているので、是非ご協力をお願いしたい。とご挨拶されました。

続いて、神谷昭男立教学院理事長より、総長はじめ皆さん野球の応援で不在との事で太刀川奨学金の授与をしているうちに負けてしまいました。と六大学野球のエピソードで笑いを誘われました。立教大学は2024年の150周年に向けてグローバル化プログラムを実行されており、学院としてはビジョン実現のため財務構造をしっかりとせ行かなければならないと考えており、そのためにも、皆様の力添えをお願いしたい。とご挨拶を頂きました。

その後、来賓の方々のご紹介を司会者よりさせていただき、さらに、新春名刺交換会以降に入会された3名の新入会員の紹介と記念撮影を行った後、曾山茂校友会副会長より乾杯のご発声を頂き懇親会がスタートしました。

松本楼の美味しい食事とお酒に加えて、同友、先輩、後輩等様々なつながりに会場各所で六大学野球の話などで大いに話が盛り上がり、情報交換に華が咲いておりました。

終盤では、当クラブの事務局員でした和泉さんが定年されるため、和田会長から花束の贈呈を行い、後任の長倉さんの紹介をいたしました。最後に上原洋一副会長(S46 院経・上原ネームプレート工業株式会社代表取締役社長)に中締めとして一本締めをしていただき閉会となりました。

一品川 高穂 H8 済一

2016年度第1回理事会

さる5月18日、本年度立教経済人クラブ第一回理事会が新橋の新橋亭（取締役会長：呉 東富様 昭41・営）にて開催されました。18:30定刻より理事会を開始。昨年度実施された各委員会企画事項の開催報告並びに決算報告をさせていただきました。また本年度は役員改選期であるため、新顧問・理事の方々や各運営委員長の案を上程。本年度の運営方針と予算案をそれぞれ審議いただきました。和田会長をはじめ、副会長・各理事の皆様からご意見並びにご助言を賜り、会員各位からお預かりしている会費をもって運営している以上、積極的に会員各位が楽しんで、かつ参加しやすい企画運営をと指示いただきました。その後懇親会へと移り、和田会長（昭50・営）より昨年度の企画の振り返りや運営委員会への熱いご支援のご挨拶のあと、長谷川正二郎様（昭25・営）による高らかな乾杯のご発声により開宴。

今回も新橋亭 呉先輩のお計らいによりおいしい中華のメイン是北京ダックー羽を丸丸（皮だけでなく肉も！）ご提供いただき、参加しているメンバーはめったに味わうことのない機会とばかりおいしい料理に舌鼓をうちました。

諸先輩方の近況などを詳しく伺うことができ、定刻21時に散会となりました。引き続き各委員会の活動にご支援とご指導をお願いいたします。

—林 雄太 H7社—



ウェルカムナイト



2016年6月8日（水）19:00～ 神楽坂のトラットリア フィオリトゥーラにて、本年度最初のウェルカムナイトが開催されました。ウェルカムナイトは、新入会員になった方々を中心に気軽に参加していただける懇親会で、新入会員同士また、既存の会員との交流を深める場として年2回開催しております。今回は、9名の新入会員を含み総勢29名のご参加をいただき、お店に入りきらないほどの盛況でした。

諸事情により、名札などの備品が届かないというハプニングがありましたが、そこは、持ち前のチーム立教スピリットで何とか開会にこぎつけました。冒頭、戸井田副会長に乾杯をしていただき、スタート。トスカーナの伝統料理をベースにしたイタリアンと、国産A5和牛のピステッカを堪能いたしました。恒例の自己紹介コーナーでは、新入会員との意外なつながりが次々と明らかになる等、各所で大いに盛り上がった会となりました。新入会員の皆さまも、今後様々なイベントに参加していただける契機になったと思います。

—品川 高穂 H8済—



立教大学法学部のキャリア教育の取り組み

新任ご挨拶

法学部長 神橋 一彦



立教経済人クラブの皆様には、日頃から法学部に對しましてご支援、ご理解を賜りまして誠に有難うございます。この4月から2年間、法学部長・大学院法学研究科委員長を務めることになりました。何卒宜しく願い申し上げます。

私自身、立教大学には2004年に赴任し、13年目を迎えます。前任校は国立大学でしたが、折しも2004年の独立行政法人化により、国立大学はその姿を大きく変えました。その点、立教大学は、学生とともに教職員が一体となって大学のあり方を考える、大学の自治の原点を見失うことなく、今日に至っていると感じております。

しかし、現実には大学を取り巻く環境の変化には極めて大きいものがあり、大学に求められる要請も多様化しております。グローバル化や大学に即戦力養成を求める流れはその一つですが、他方で、身近な社

会を支える人材や、一生のキャリアを支える基礎力の養成も強く求められております。さらに就職活動との関係で、大学4年間全てを十分に勉学に充てることが難しいという制約も無視できません。そういった中、我々が限られた時間で何を学生に伝えるべきかが、まさに問われているといえましょう。

法律も政治も日々変化することは当然です。その中であって、大学で教育すべきことは、細かい法律の内容や政治現象ではなく、その基礎にあるものの考え方・ものの見方であるとおもいます。法律についていえば、そのような基礎がなければ現行の法令も理解できませんし、政治についてもそこに本質的な洞察なしには、所詮床屋談義以上の話是不会出てきません。これは言うまでもないことですが、大学とは何かについて、近年、一部に大変極端な意見もみられますので、あえて強調する次第です。

私自身、専門は行政法で、企業活動そのものについては素人の部類に属しますが、大学2年のとき、商法の先生から、1年間、ドイツ語の手ほどきを受けたこ

とがあります。その先生が、近年、1000頁を超える19世紀ドイツ私法学の古典ともいべき1冊の本を翻訳・出版されました(オットー・フォン・ギールケ／庄子良男訳『ドイツ団体法論』全4巻)。その本を手にとったとき、先生がなぜこの数年以上を要する大仕事を、それも60代後半になって手掛けられたのか、最初よく理解できませんでしたが、ご専門の会社法の研究の中で、どうしても会社の本質とは何かといった原点に立ち返らざるを得なかった、それがこの古典を翻訳した動機である、と解説で述べておられました。それを拝見して、物事の本質へのこだわり、かくの如しかと深い感銘に打たれるとともに、やはり大学は、教育も含め、そのようなこだわりを大事にすべきであると改めて感じた次第です。

大学は、単なる物的な施設にとどまるものではありません。学生、教職員がいて、そしてさらに連綿として受け継がれる伝統のなかに先輩・校友の支えがあつての大学です。今後とも、変わらぬご支援の程をお願い申し上げます。

国際ビジネス法学科特任准教授 薬師丸 正二郎

立教経済人クラブ会員の皆様におかれましては、日頃より法学部の教育にご理解、ご協力頂きまして、誠にありがとうございます。本年4月よりキャリア教育担当教員として、法学部の特任准教授に就任しました。本年度は「法学基礎演習・FSP (Future Skills Project)」、「キャリア意識の形成」、「演習」を担当しております。

法学部のキャリア教育を担当するにあたり、私の抱負と決意を述べさせていただきます。一般に自然科学系の学部(医学部や工学部等)が将来の職業選択と密接な関係にあるのに対して、人文科学系の学部は、職業との結びつきは薄いといわれています。法学部もその例外ではありません。

ん。事実、毎年、法学部卒業生の進路として、法曹を目指す者は一部であり、多くの学生は民間企業、公務員を進路として選択するのが現状です。このような現状において、ある意味で職能教育的な色彩を有する学修を提供する法学部の講義は、一部の学生にとっては、「法律家を目指すわけでもないのに、なぜこのような細かいことまで学ばなければならないのであろう」との疑問を抱かせることもあります。「それが法学部で学ぶということですよ」と言ってしまうお終いですが、様々な進路を考える学生を受け入れる法学部としては、本来の法律学、政治学を学問として伝えるという目標以外にも、様々な社会の多様性や変化に対応できる

実践的な人材育成についても考えなければならぬ状況にあるといえます。このような問題意識から、法学部で学ぶことが社会とどのように繋がっているかを明らかにし、どのように学生に伝えていくべきかを考えることが法学部のキャリア教育を担当する私の使命の一つであると考えております。

これからも、社会に貢献できる人材を一人でも多く輩出し続けることを決意する次第です。この目標を達成するためには、実務の第一線でご活躍頂きます立教大学OB・OGの皆様のご理解とご協力が不可欠です。今後とも、立教経済人クラブ会員の皆様の変わらぬご支援を宜しく願い申し上げます。

法学部の国際交流プログラムについて

立教大学は、文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化牽引型)」に採択されました。これは、徹底した国際化と大学改革を断行する大学を重点支援することにより、日本の大学の国際競争力を向上することを目的として、2014年度より実施されるものです。「専門性に立つグローバル教養人」を育成し、国際社会に貢献できる大学を目指す立教大学は、国際化ビジョンを実現するために4つの分野で目標を設定し、2024年の創立150周年に向けて国際化を推進していきます。2014年5月に公表した「Rikkyo Global 24」は、その目標を達成するために取り組んでいる24のプロジェクトの総称です。

ここでは、法学部の国際交流に関するプログラムを紹介させていただきます。

I 法学部の国際交流プログラム

- ・シンガポール経営大学との学部間留学協定 2015年度スタート(毎年法学部生を派遣・受入各1-2名、2016年度に最初の派遣留学生を送り出し)
- ・Oxford Summer Program (8-9月に4週間) オックスフォード大学の学寮で過ごし、オックスフォード大学・ケンブリッジ大学の教員から直接英語で「西洋古典学 Classics」と「法学 Common Law」を学ぶプログラム
- ・英語で学ぶ授業群 法律英語(英米法1)、外国人教員による授業、法政外国語演習際ビジネス総合など
- ・国際交流の基礎知識となる授業群 国際法、国際経済法、外国法、国際政治、ヨーロッパ政治論、アメリカ政治論など
- ・櫛引賞 派遣留学する優秀な法学部生に授与する(毎年4名)

II 外国語で行われる授業

政治学特別講義／法学特別講義／法政外国語演習(英・中・独・仏・西)

III 国際法・政治について学ぶ授業

国際私法／国際ビジネス法総合 1A・1B・2／国際経済法／国際法 1・2／国際民事手続法／国際政治／

IV 外国法・政治について学ぶ授業

比較憲法／英米法／外国法／ヨーロッパ政治論／アメリカ政治論／アジア政治論／欧州政治思想史／比較政治理論／比較政治 1・2・3

V その他

国際交流を通して豊かな学生生活を送るために、留学や国際交流について豊富な経験を有する法学部学生(法学部メンター学生)による様々な企画が用意されています。

このように法学部では、将来世界で活躍する仕事に就くことを志している学生を育成する支援を行っております。

ウィリアムズ主教が召し上がった日本茶を訪ねて

第1回：キリスト教と日本茶

98年文学部心理学科卒の満木(みつき)です。2011年に設立したマーケティングのお手伝いをしている株式会社ねこばんち(本誌でも数年前にお取り上げいただきました)と、昨年の4月に設立した一般社団法人日本茶アンバサダー協会の2つの事業を営んでいます。

日本茶アンバサダー協会は、日本茶の消費が右肩下がりで、急須で淹れて飲む文化が消えかけつつあるのを食い止めて日本茶業界をエンパワメントするために、日本茶のファンを増やす活動をしています。

具体的には、日本茶アンバサダーの公募講座を開催して、基礎的な知識を身に着けて日本茶の美味しさ・楽しさを伝えてくれる人を増やしたり(次回は10月開催の予定)、イベントを開催したり、情報発信をしています。

このたびは連載をさせていただくことになり、お声がけいただきました徳澄先輩に心から感謝いたします。せっかくいただいた機会を活かして立教大学と日本茶の関係を探ることを試みてまいりたいと思います。

キリスト教の布教が禁じられていた時代に高い志をもって日本にいらしたウィリアムズ主教は日本茶を召し上がったのか?召し上がったとした

らどんなシチュエーションでどんな日本茶を召し上がってどんな感想をもたれたのか、そこまでたどり着きたいものです。

お茶屋さんを営むなど茶業に従事されているOBの方にもインタビューさせていただく予定です。読者の方で情報をお持ちの方がいらっしゃいましたら事務局までご連絡いただけますと幸いです。

ちなみにキリスト教と日本茶、一見結びつかないように思いますが「茶道」を媒介に結びつきがあるようです。

現在のような「詫び茶」へと方向転換させたのは織田信長と言われていて、下戸だった信長がお茶を利用して天下統一を図ろうとしたとする説もあります。この時代はまさにルイス・フロイスなど宣教師が日本にわたり布教と同時に西洋文化を伝えたタイミングで、その影響を茶人たちが受けていてもおかしくありません。

袱紗捌きや同じ器で濃茶を回し飲む作法は、キリスト教の儀式にインスパイアされてできたのではないかと考えられています。

それから300年後の日本にいらしたウィリアムズ主教は日本茶を召し上がったのか…探ってまいりたいと思います。 —満木 葉子 H10心—



[プロフィール]

満木葉子(みつきようこ)

株式会社ねこばんち代表取締役/一般社団法人日本茶アンバサダー協会代表理事

立教大学を卒業後、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社ほか複数の大手企業に勤務しドブ板営業から人事、PR、事業開発まで幅広く経験。2011年に株式会社ねこばんちを設立。商品開発やプロモーション、イベントを通して、企業や人がより善く生きるサポートを実施。2015年に一般社団法人日本茶アンバサダー協会を設立。日本茶業界が元気になることを目指し、癒しや健康、コミュニケーションツールとして日本茶の力で幸せを増やす活動を展開している。

☆日本茶応援サイト『ENJOY!日本茶』

www.nihoncha.org/

☆株式会社ねこばんちFBページ

www.facebook.com/kabushikigaisyanekopanchi/

教育経済学

「教育」と「お金」を結び付ける話は、日本ではあまり好まれません、世界ではかねてより長期にわたる研究が進んでいて、その結果が現在になって現れつつあります。

「教育経済学」という科学領域が近年一つの分野として確立されてきました。「教育は投資である」という考え方で、その投資からどれだけの「成果」あげられるか、ということについてエビデンスを持ち込むのが今世界の潮流になりつつあります。これは日本では浸透していませんが、ノーベル経済学賞を受けたシカゴ大学のJ・ヘックマン教授の研究などで、就学前教育の投資対効果が高いことはもはや世界のコンセンサスになりつつあります。例えばアメリカのミシガン州で1960年代に始まった研究で3〜4歳の子どもたちに就学前教育を実施して、教育を受けたグループと受けなかったグループを40歳になった時点で比較した結果、前者は学歴、収入、持ち家率が高く、雇用が安定しており、反社会的な行為に及ぶ確率が低かったといえます。そして彼はもう一つ学力やIQといった「認知スキル」だけでなく、「非認知スキル」に注目しました。それによると就学前教育を受けた子どもの学力やIQは

確かに向上していますが、8歳くらいになるとほとんど差はなくなります。その中で大人になっての社会的成功に重要なのは、学習意欲や忍耐強さ、やりぬく力など目に見えない能力ではないかと考えられるようになってきたのです。認知スキルとは、IQ、学力、記憶力など数値等で認められるもの。逆に非認知スキルとは、思いやり、やりぬく力、協調性、自制心、社交性、勤勉性、意欲、自尊心、信頼など数値には表れないものです。この中でも特に自制心(セルフコントロール)、やりぬく力をしっかりと持った子どもは成人してからの社会的成功の比率が高いことは証明されています。

ここからは子育て世代の方々への話になってしましますが、意識すればセルフコントロール力は高めることができます。例えば「ちょっと頑張るって手を伸ばせば届く目標を作り続ける」ことです。「朝6時に起きる」とか「甘いものを食べない」とか簡単なものからでよいのです。そして将

来に向けてのモチベーションを持ち続けることも大事であり、節制が利いた前向きな人が家族や周囲に多いと自製のレベルが高まります。幼児教育と言うと英語・読み書き・計算・漢字・俳句を覚えるなどを想像しがちですが、重要なのは、「遊びを通しての学び」です。画一的で受動的な学びではなく、自主性を大切にした能動的な遊び。これが子どもの「心情・意欲・態度」つまり非認知スキルを高めるのです。ですからご家庭でも、①「可塑性」のある遊び(積み木、粘土、工作遊びで使う空き箱など想像力を駆使することで自由に变化するもの)、②「巧緻性」を鍛えるもの(折り紙、あやとりなど)③絵本の読み聞かせ(たくさんの物語に触れることで語彙力や想像力が高まる。何よりも親から愛されたという実感が残りやすい)というような遊びを通しての子どもとのふれあいや見守りが子どもの育ちにとっても有効だといえますね。

—田中 善之 S57法・H22院ビー

おカネ学 ～知っていると思える パーソナル・ファイナンス～

次世代の知識が重要

相続編 2016 August

相続・贈与の失敗事例から学ぶコツ(受贈者知識)を今回はご紹介いたします。

- 贈与の認識が無いと否認される?
- 税務調査パニック
- 受贈者も知識の確認が必要
- 税理士先生=オールマイティ?
- 継続対応ができる専門家を

・贈与の認識が無いと否認される?

贈与手続きを完璧に行ったと思っていても、贈与を受け取る受贈者がしっかりとその旨を発言しないと誤解を受けて贈与が成立しない可能性があります。

・税務調査パニック

税務調査が入った時に、今までにない経験から緊張して「知らない、父がやったこと」と発言してしまったケースがありました。実際に贈与契約をしており、贈与申告も数年前に手続き済み。受け取る相続人=受贈者も認識していた事実もあった場合でしたが、実際に誤解を招く事態は起こってしまいました。贈与者が完璧な手続きを踏んでいても、若年で社会経験が少ない受贈者においては、税務署が「税務調査」の目的で自宅を訪れる「臨宅」という初めての経験に驚いてしまい、動揺

してしまうケースも起こり得る訳です。

・受贈者も知識の確認が必要

贈与プラン、贈与契約や贈与申告が終了していてもそれで安心出来ない事柄は起こり得る訳です。税務調査・臨宅調査に対応する対策として

- ①経験豊富な相続・贈与に詳しい税理士に立会いを依頼する
- ②税理士に受贈者との打ち合わせを実施してもらう
- ③誤解を招きかねない行為が何であるのかをレクチャーしてもらい、受贈者全員がきちんと認識すると

いう事柄が大事だと思われます。

・税理士先生=オールマイティ?

会社経営者の方々には、「会社の決算を任せている税理士がいるから大丈夫」と考えているケースが多く見受けられます。しかし気軽に話せる税理士先生=相続・贈与の専門家であるとは限らない訳です。事実、私が金融機関に勤務していた時に「実は相続の手続きは詳しくない。あなたは相続事例を沢山みているので、どの様な方法が考えられるか教えて欲しい」と税理士から質問を受けたことがあります。

・継続的対応ができる専門家を

仮にあなたが疾病の対応で専門的な治療が必要な時に、外科・産婦人科といった専門性の高い医師に対応してもらう方が安心だと思えないでしょうか。「何年知っている先生だから」という理由で専門外の医師を選択するのでしょうか。相続・贈与税務に専門性は必要だと思います。従来の人間関係や義理人情で相続・贈与に関して進めてしまうことが正解とは思えないのです。会社の決算申告、個人の確定申告は従来通りの税理士先生に今後もお願いすれば良く、相続・贈与においては事例を知識が豊富な専門家が必要な場合も多いことをご認識頂ければと思います。

※本内容は一般的な考え方を示したものであり、本件の実行に関して当社は一切の責任を持ちません。実際にプランを行う場合には税務の専門家にご相談下さい。

監修 オリオン税理士法人

All rights reserved

RIA JAPAN おカネ学株式会社

<http://ria-japan.co.jp/>

—安東 隆司 H1社—

連載

グローバルリーダーへの道(第10回)

グローバル人材になるためのリーダーシップの要件

過日、アメリカのニュージャージー州への出張時に、母校であるペンシルバニア州フィラデルフィアにあるペンシルバニア大学を久々に訪れました。ビジネススクールは有名で「ウォートンスクール」と呼ばれていますが、全米でも財務や会計分野ではNO.1スクールと評されています。

そのウォートンスクール内では、グループで討議するガラス張りの部屋を見ることができます。いくつものグループ討議室では5～6名で討議していましたが、日本人がヘゲモニー(主導権)を握っていると思いきや、近くに行くと、シンガポール人や韓国人などがアメリカ人を中心とした欧米人と対等に議論していました。

日本人はどの部屋にも見ることはできず、パ

ソコンの前で資料作成されていた某メガバンクの企業派遣の方とお話をしました。宿題に追われて、中々、討論に参加することができないということでした。

その方は典型的な日本人タイプで、異文化の方々とは適応することに慣れていないように感じられました。これからは国籍を問わずチームを組み、その中で統率していくリーダーシップが求められます。

異文化コミュニケーション能力を磨くことはリーダーシップを執るためには重要な要素です。日本は単一民族国家であり、海に囲まれた島国で、地理的な制約条件があるかも知れません。アジアの中でも先に挙げた国々は異文化との交流が比較的多いものです。

これからリーダーになる方は、是非とも社内と

いう快適空間から抜け出し、社外の方々と定期的に交流する場を作ることから始めてみてはいかがでしょうか? これから益々、言語のみならず、価値観や仕事観の違う方々を統率していくリーダーシップ能力が問われます。

異世代、異業種、異職種の方々が一堂に集う当クラブは多様性の理解、異文化適応能力の醸成という意味からも存在意義は高いのです。

—藤田 聡 S62営—

ご質問・ご意見・ご感想があれば、
fujita@v-change.co.jpまで。
蛇足ですが、弊社の中小・ベンチャー企業向け社員力向上支援サービス「人材開発研究所」が先日、日経産業新聞のトップ面に取り上げられました。「中小企業の組織活性化から日本を元気に!」で邁進しております。

ご関心があれば、下記まで。
www.v-change.co.jp/jinzai_kaihatsu

立教大学経済学部のカリヤ教育の取り組み

第4回赤レンガセッション 被災のリアルを考える ～避難所運営ゲームHUGにチャレンジ 実施レポート

経済学部の卒業生と在学生の交流イベント、第4回赤レンガセッションが2016年7月8日（金）、太刀川記念館にて開催されました。赤レンガセッションは、学生と卒業生のフラットな交流を通じて、同窓の結束のもとそれぞれのキャリアの成長と、立教大学経済学部のさらなる発展を目指すものです。

今回のテーマは、『被災のリアルを考える』。春に発生した熊本地震を意識し、誰もが人ごとではなく明日は我が身に起きることと危機意識を持ちながらも、一般的に防災・減災のアクションはなかなか起こせません。実際に被災したらどうすればよいのか考えたとい、四丁会学生執行部を中心に企画されました。（「四丁会」とは経済学部の同窓連携団体です）

今回使用された「避難所運営ゲーム HUG（ハグ）」とは、静岡県が2007年度に開発したカードゲームです。大規模な災害時に学校の体育館や市民ホー

ルなどに開設されることになっている「避難所」の運営本部が、無秩序で混乱した状況下でどのように解決していくかを模擬的に体験できるようゲーム形式にしたものです。東日本大震災下でも実際に成果が報告されているそうです。

参加した学生からは、「普段自分が考えるような内容ではないから経験になった」「実際にやってみるとこんなに大変なんだとびっくりした。何もやらないでこういう事態になったらオロオロしてしまう」「この先生きていくうえで役に立つ」などの感想がきかれました。

OB・OGからは、「いざというとき動ける人間でありたい」「全く未知の世界でよかった」「こういう時に何もできないことを知っていることがスタートだと思う」などの声をいただきました。主催側としては、パニック状態の避難所の運営を通じて、被災の模擬体験のみならず、チームワーク、リーダーシップのあり方、また、

地域社会の実際を知るなど、参加者それぞれが自らのキャリア形成や生き方にもつながる多くの気づきをいただけたのではと考えています。

年に2回の「赤レンガセッション」では、お一人で参加される方も多く、セッション終了後も、新しいつながりができ交流の輪が広がっています。次回は12月のクリスマスイルミネーションの美しい時期の実施を予定しています。まだ参加されていない方もお気軽にお越しいただき、懐かしく美しい池袋キャンパスでの新たな出会いとコミュニケーションを通じて、ますますのパワーアップと充電をしにきていただきたいと思います。心からお待ちしております。

■次回 赤レンガセッションのご案内

12月17日（土）15時より
立教大学池袋キャンパス 太刀川記念館3階

正課キャリア科目『課題解決演習C』実施報告

2013年度からスタートした経済学部の産学連携キャリア科目が、この2016年度より、名称新たに再出発いたしました。その名も、『課題解決演習』シリーズ。授業で取り組む内容がストレートに学生へ伝わり、この授業の存在自体をより広く知ってもらえるようにとの願いを込めて、キャリア教育運営委員会のメンバーで決定しました。

全部で3つある『課題解決演習』の中で、この春学期に開講された『課題解決演習C』は、2年生以上を履修対象にした、少人数形式の授業です。今年度ご協力いただいたのは、株式会社ワークスアプリケーションズと株式会社栄光。半期を前半・後半に分け、それぞれ5～6回ずつ授業をご担当いただきました。

前半のワークスアプリケーションズの授業は、チーム対抗のディベートと、そのための思考整理・

発言準備となるレポート執筆を柱に展開されました。ディベートのテーマは、「2020～2050年をより良い未来にしていくために、これからの日本人が最も学ぶべきと思う学問はどれか」や、「2020～2050年の世界をより良くしていくために、最も発展すべき企業はどれか」といった、学生がこれまであまり考えたことも無かったような未来志向のものばかり。今、自分たちはどういう時代に生き、自分たちが社会人となって引っ張っていく未来は、今後どう変わっていくのか。その中で「働く」とはどういうことなのか。残りの学生生活の過ごし方を改めて考え直す機会としても、とても重要な多くの「問い」と向き合うことができた時間となりました。

一方、後半の栄光の授業では、「Z会・栄光グループのリソースをフル活用して、教育で社会に貢献する新規事業を提案せよ」というミッションに、5～6人

チームに分かれて挑戦しました。チームごとに議論を重ねてテーマを設定し、二度の講師の方への中間報告を経て、最終プレゼンテーションへ。各チームからは、高齢化や大学入試制度改革、小学校でのプログラミングの必修化など、様々な切り口から提案が集まりましたが、ニーズ分析以上に重要な、「提案者である自分たちが本気でやりたいと思っている事業なのか」「それを何故栄光がやるのか」という根っこの部分について、熱意と説得力を持って伝えられた発表がまだまだ少ない印象でした。「どういう仕事を通じて、どんな社会を作りたいのか」、「仕事をしていく上で一番大切なのは、その仕事に込めた“想い”である」――。まさにこれから自身の進路を選択していかなければならない学生たちには、この講師の方からのメッセージを正面から受け止め、納得のいくまで考え抜いてもらいたいと思います。

経済学部正課 インターンシップ2016

今年度は、5名の学生が以下の会社のご協力により、2週間の就業研修を受けることになりました。

- ・AMWコンサルティング(株)
- ・SBI損害保険(株)
- ・(株)三栄コーポレーション
- ・(株)スキャンインター
- ・(株)フジタ

多くの会員のみなさまに受け入れ表明をいただいたにもかかわらず、受講学生が少ないこともあり、お断りせざるをえませんでした。非礼をおわびするとともに、篤く御礼申し上げます。

（授業担当：遠山恭司、三谷進）

経済学部キャリア教育サイト 「STORY」リニューアルのお知らせ

この度、経済学部キャリア教育サイト「STORY」が、新しいロゴマークと共にリニューアルいたしました！この「STORY」というタイトルは、“大学4年間の過ごし方は、十人十色。入学時のスタートラインは同じでも、自分が何を考え・選択し、行動したかで、人それぞれ全く異なるストーリーが生まれる。＝主体的に学び・挑戦し、自分の未来を自律的に切り拓いていける人になってほしい”との想いを込めて名付けたものです。

今後、各種プログラム・イベントの募集情報に加え、実施報告や参加者VOICEなども積極的に掲載して参ります。卒業生の皆様にも、ぜひ立教大学・経済学部の「今」を知るツールとしてご活用いただき、同窓連携強化の取組みへもご協力いただければ嬉しく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【サイトURL】<http://www.rikkyo.ac.jp/eco/career/story/>

◆◆◆ メンバー登録のお願い ◆◆◆

経済学部では、同じバックグラウンドを持つ在学生と卒業生の皆様のタテ・ヨコ・ナナメの繋がりを築き、「同窓連携から生まれる、新しいキャリア教育のカタチ」を創っていきたくと考えております。赤レンガセッションをはじめとする同窓連携イベントや、大学・学生との取組みにご関心をお寄せいただければ幸いです。教育サイトの【メンバー登録フォーム】より、ご連絡先のご登録をお願いいたします。

☆メンバーにご登録いただいた方には、年4回発行する、経済学部キャリア教育メールマガジンをお届けさせていただきます。同窓生の皆様にもご紹介くださいませ。

立教大学経済学部キャリア教育サイト

STORY



小泉 苑美

建学の精神をたづねて 居留地と日本の産業発展の繋がりを探る

神保町シンクタンク
黒田裕治(78年3月 法学部卒)

さて、今回は日本の政府と居留地の勃興について、横浜と築地を比較しながらその関係性をたづねたわけだが、その中で日本の近代旅行業の始まりと繋がったことでもあり、母校の際立った特徴でもある「観光」についてのフィールドを掘り下げてみることにした。

横浜居留地には1860年-1866年の間開業した日本で最初のホテルがあった。(諸説あり)

1858年の日米修好通商条約以降外国人が来日するも宿泊施設がなかったためオランダ人Huffnagel(フフナーゲル)が和風・洋風混合様式の平屋建てのホテルを建てて営業した。シーボルト(ドイツ人医師・博物学者、日本の地図を持ち出したため咎められた。後のシーボルト事件の本人)の紀行文にもこのホテルが記載されている。これをきっかけにイギリス人が経営する「横浜クラブ」「アングロ・サクソン・ホテル」「ロイヤル・ブリティッシュ・ホテル」、フランス人経営の「ホテル・デ・コロニー」が相次いで開業したとされる。

一方、横浜に遅れること8年、築地居留地に1868年「築地ホテル館」が建設される。幕府にホテル建設を持ちかけたイギリス公使ハリー・パークスが その頃横浜居留地に土木設計事務所を開いていたアメリカ人のリチャード・プリジェンスに設計を依頼して出来た本格的なホテルであった。そしてこの工事を請け負ったのは、現代の建設業界大手の清水建設の前身 清水組 清水喜助であった。しかも工事だけでなくホテル経営も引き受けたのである。1868年9月25日に完成したが、幕府はすでに瓦解し、新生明治政府となったため開業が遅れた。完成したホテルは総2階建て102室、水洗トイレ シャワー室 ビリヤード、バーも備え付けられた本格的なものであった。江戸東京の名所となったそうである。しかし

ながら、前回に解説した通り、築地はその使命を終えたため当時最新鋭を誇った築地ホテルも居留地と運命を共にした。

居留地で産声をあげた西洋式ホテルは、明治維新が進む過程で外国人たちの行動範囲が広がり避暑地としての需要に応えるべく本格的リゾート建設の中心施設として進化した。

日光金谷ホテル(金谷ホテルとしては1893年より)は我ら母校の大先輩(ジョン・金谷鮮治は創業者金谷善一郎の孫)が継承した日光のリゾートホテルで、多くの外国人を誘客し、明治新政府の国策である外貨獲得に大いに貢献した。有名な建築設計家 فرانク・ロイド・ライトやアインシュタイン博士、女性旅行作家イザベラ・バード、1908ヘレンケラーも滞在したクラシックホテルで、1908年には早くも自前の水力発電所を設置したり先見性も併せ持っていた。そして箱根宮ノ下の富士屋ホテルは前回もご紹介した通り現行の社長は母校の大先輩であり、また創業者 山口仙之助はホテルマンの育成にも力を注ぎ 富士屋ホテルトレーニングスクールを立ち上げたのである。のちに立教大学観光学科の母体とも位置付けられるホテル研究会が仙之助の遺志を引き継ぎ、現在に至っている。両ホテルとも日本文化を伝える展示や工夫が施され、「観光」の最大の目的である、相互理解の場づくりに取り組んできた。

日本における外国人リゾート地として発展した歴史の中で軽井沢を忘れることはできない。

1886年、避暑地として世界に紹介したのは聖公会宣教師アレキサンダー・クロフト・ショー

とその友人東京帝国大学英語教師ジェームズ・メイン・ディクソンが 軽井沢の亀屋旅館を訪問し、外国人受け入れについてのノウハウを伝授したこと

プロフィール
1955年7月4日 広島県尾道市 生まれ
立教高等学校 立教大学を経て
近畿日本ツーリスト株式会社に勤務
2012年、独立して安曇野シンクタンク創立に加わり、
現 神保町シンクタンクを主宰

から、のちの軽井沢万平ホテルへと発展していったのである。日本アルプスを世界に紹介したウォルター・ウェストンや近年ではジョンレノンとヨーコ氏が長く滞在したホテルとしてもつとに有名となった。

今回の結論

横浜ホテル、築地ホテル館、日光金谷ホテル、箱根富士屋ホテル、万平ホテルとたづねてみたが、史実としては日光金谷ホテル、箱根富士屋ホテルと母校の絆は大変深いものがあり、万平ホテルとは聖公会での繋がりが感じられる。つまり本格的なホテル経営を通じて西洋文明を日本に紹介してそれぞれの文明を体験しながら認め合い、理解を深めることに寄与してきた歴史と言えるだろう。

サミュエルハンチントンは文明と文明は衝突しやがて紛争の火種になってゆくと論じたが、衝突ではなく相互理解が進む装置としての「ホテル運営」は可能ではないだろうか？母校の先達は静かにそれを実行してきたと思う次第である。日本の近代産業の興隆は西洋文明を模倣することから始まった。お雇い外国人から技術指導を受けたと言ってしまうとその通りなのだがその舞台となってより一層の理解と信頼を得る「場づくり」はこれらのホテルで醸し出されたと言えるのではないだろうか。



軽井沢万平ホテル

参考 築地居留地Vol.1～4 築地居留地研究会
各ホテル ホームページ



立教経済人クラブ 各委員会より

● スポーツ委員会

昭和59年法学部法学科卒業です。在学中はスイートスポットゴルフクラブゴルと言うゴルフサークルに所属しておりました。それもご縁なのか、スポーツ副委員長から現在、委員長として毎年2回のゴルフコンペを絶賛開催中です。夏の会は毎年、埼玉県の東京ゴルフ倶楽部で開催しております。超名門ですがかなりお得な料金でプレイできますので、毎回人気があります。秋の会は11月末から12月上旬に開催しております。こちらは毎回違うゴルフ場になります。少し気軽な、名門とは少し違う雰囲気を出していきたいと思っています。ですが、この時期は皆様お忙しいようで参加メンバーがなかなか集まりません。是非、秋の会も宜しくお願いしますm(_)_m

以前はドラコンやニヤピンその他の賞が何もなかったのですが、これからは賞品の集まる数にもよりますが、色々な賞を増やしていき、皆様がより楽しいと思って頂けるゴルフ会にしていきたいと思っています。—長倉 一裕 S59法—

● 活性化委員会

活性化委員会が担当する主な事業は、クリスマスパーティです。クリスマスパーティでは、ご家族や社員の皆さまにも楽しんでいただけるような、立教らしいアットホームなパーティを企画しております。

お子様も参加しやすいゲームや、マジシャンを招待する等をして盛り上げています。また、最大のイベントはビンゴゲームを使ったプレゼント交換です。皆さんがどんなプレゼントを持ってくるのかワクワクしながらゲームを楽しんでいます。立教経済人クラブに入会したものの、しばらくイベントに参加していないという皆さまに向けて、参加したくなるような企画を考えていきますので、皆さまのご参加をお待ちしております。 —二瓶 豊 H10法—

● 産学連携委員会

産学連携委員会では、立教大学経済学部のご要請により、学生によるインターンシップの受け入れを立教経済人クラブの会員企業様にお願いして橋渡し役をしております。本年度も5名の学生から要請を受け、夏休みの2週間程度を使って就業体験実習を実施予定です。

本年も多くの会員企業様から受け入れ協力の手を挙げていただきました。せっかくのお申し出に対し、人数的にもマッチングが叶わずご厚意に報いることができなかった企業様に心より感謝とお詫びを申し上げる次第です。次年度以降、より多くの学生諸氏が貴重な体験を通し社会へ旅立っていかれるようにお手伝いをしてまいりたいと思っています。 —林 雄太 H7営—

● 会報委員会

会報委員会の今年度のテーマは、ホームページ、facebookを活用しての、会員増強支援です。ネット上(facebook上)に広告掲載し、新たな試みも始めております。『会員が増える=若い会員が増える=経済人クラブが活気付く』若い会員が積極的に会に参加したくなるよう、情報発信の場作りを支援したいと思っています。

皆さまからの積極的な出稿、投稿をお待ちしております。また、会報制作に関わってみたい方、奮ってご参加ください。経済人クラブに溶け込むきっかけになること請けあいます。 —徳澄 範光 S62数—

新しく会員になられた方々

(敬称略)

大内 篤子 昭和59史
公立大学法人 首都大学東京 産業技術大学院大学
管理課長
〒140-0011 品川区東大井1-10-40
TEL:03-3472-7831
FAX:03-3472-2790
大学教育

柿澤 光郎 平成3観
ジュニパーネットワークス(株)
インダストリー営業開発本部(本部長)
〒063-1445 新宿区西新宿3-20-2
TEL:03-5333-8194
FAX:03-5333-7401
E-Mail:mkakizawa@juniper.net
ネットワーク通信機器製造

川辺 雄一 平成4社
(有)陽光
代表取締役
〒174-0052 板橋区蓮沼町25-3
TEL:03-3968-1162
FAX:03-3968-1015
不動産

鈴木 紀子 平成4英
港ポンプ工業(株)
代表取締役
〒221-0045 横浜市神奈川区神奈川2-5-10
TEL:045-441-7835
FAX:045-441-6522
E-Mail:noriko@minatopump.co.jp
ビルメンテナンス、給排水設備維持管理

玉川 義久 平成6社
玉川漆器(株)
代表取締役社長
〒101-0048 千代田区神田司町2-15
TEL:03-3293-2501
FAX:03-3295-3663
E-Mail:yoshi@tamagawa-sikki.co.jp
漆器等卸売業

檜崎 かほり 平成3社
(有)ボーグ装飾
〒164-0003 中野区東中野2-2-3
TEL:03-3368-2165
FAX:03-3360-7810
服飾加工業

平田 知子 平成9法
goowell
代表
〒169-0051 新宿区西早稲田2-17-12-103
TEL:03-6326-0074
FAX:03-6326-0074
E-Mail:goowellh@gmail.com
整体、アロマトリートメント、
会社出張整体、イベント出張整体

古橋 智史 平成23コ福
スマートキャンプ(株)
代表取締役
〒108-0014 港区芝4-12-2
クロスサイド田町8階
TEL:03-6453-8799
E-Mail:satoshi@smartcamp.asia
IT インターネット

山内 桂太 平成11立高
ブルデンシャル生命保険(株)
課長
〒107-0062 東京都港区南青山2-26-1
南青山ブライトスクエア7F
TEL:03-6890-1900
FAX:03-6890-1880
E-Mail:keita.yamauchi@prudential.co.jp
生命保険業

依田 達也 平成16国比
司法書士 依田法務事務所
代表
〒171-0022 豊島区南池袋3丁目16番7号
MKビル6階
TEL:03-6907-1368
FAX:03-6907-1369
E-Mail:yoda@ixys.jp.net
司法書士業(不動産登録、会社登録、相続 他)

2016年度 事業計画書

2016年 8月	経済学部インターンシップ支援	(募集)
2016年 9月 14日	女子会	場所未定 (募集)
2016年 9月 10日	他団体交流ゴルフ	アスレチックガーデンGC (募集)
2016年 9月 29日	グルメ会	場所未定 (募集)
2016年 10月 13日	朝食勉強会	シャングリ・ラ ホテル 東京 (募集)
2016年 11月	ウェルカムナイト	場所未定 (募集)
2016年 12月	クリスマスパーティー	場所未定 (募集)
2016年 12月	第70回ゴルフ会	場所未定 (募集)
2017年 2月	新春名刺交換会	日比谷松本楼 (募集)
2017年 3月	世代を超えた勉強会	場所未定 (募集)
2017年 3月	朝食勉強会	場所未定 (募集)
2017年 3月	グルメ会	場所未定 (募集)

運営委員会に参加しませんか？

経済人クラブの運営を手助けしてくれる有志を求めています。毎月1回の運営委員会に参加して頂き(本業優先で結構)、自分の役割を片手間にこなして頂くだけです。特

別な資格、スキルは一切要りません。本業に影響が出るようなこともありません。必要なのは、経済人クラブの仲間と交流したいと思う気持ちだけかな!? 打合せ終了後の飲み会が楽しみかも？



編集後記

5km歩いてタマゴをかせそう。

人気スマートフォンゲームアプリの「ポケモンGO」が日本でも配信されました。このゲームでは、ポケモンを見つけて捕まえたり、入手したタマゴを孵化させたりするためには現実の町の中を歩き回る必要があります。

ニュースでは、歩きスマホや他人の敷地への無断立入り、ゲームを悪用した犯罪の発生等の問題も指摘されています。しかしその一方で、引きこもりがちだったのがゲームをきっかけに進んで外出するようになり、ゲームを通して人と関わることの楽しさを覚えたという人も多数いるようです。また、運動不足を解消するきっかけとなり、子供の肥満問題に対してオバマ大統領が8年費やしても成し遂げられなかったことを、ポケモンGOは24時間で成し遂げたとの声も上がっています。

そして、アメリカ人がついにメートル法を学習!「ポケモンGO」は、アメリカでも歩かなくてはいけない距離をキロメートルで伝えているため、今までメートル法を嫌っていたアメリカ人も「ポケモンGO」のブームで「メートル」を理解せざるを得ない事態になっているようです。ゲームが、世界を、未来を変える日が来るのかもしれないですね。

—吉原 伸隆 H4営—

立教経済人クラブ ウェブサイト

<http://www.r-keizaijin.net>

立教経済人クラブでの、過去の行事や活動はウェブサイトでご覧頂けます。



Facebook で、立教経済人クラブのグループに参加しよう!

セミナーや新製品の告知、交流の場としてドシドシ投稿してください。